
3月11日の大地震から3か月。東京では、クールビズの前倒しで電車内でもノーネクタイの出勤風景が当たり前になりつつあります。普段なら衣替え。あまり形式ばらずに服装も生き方も臨機応変が肝心な時代になったようです。そんななか、今月も、ネットワークの活動の現在と今後の取り組みを報告します。

◆ 目次

【1】最近活動報告

1. 東京部会報告
2. 大阪部会報告
3. その他

【2】イベントカレンダー

- これからの予定をまとめて掲載します
2011年度の夏休み経済教室の内容が確定しました

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

1) 東京部会が開催されました。

38回の東京部会が、5月12日に日本大学経済学部で開催されました。参加者11人。

今回は、実践報告が本郷中高の横山先生からありました。中学3年生の国際社会の箇所で行われた「四人のディレンマじゃんけんゲーム」です。授業の様子の映像や作業プリントも用意され、生徒の様子や授業の流れがよくわかる報告でした。じゃんけんゲームは、宮尾先生が国際大学で行ったものを下敷きにして、核開発のディレンマを実感的に理解させるものとして位置づけています。報告の後討論が行われ、この種のゲーム教材の有効性と取り入れる時の配慮事項などが確認されました。

その後、加藤先生からのトヨタ財団への助成金申請の報告、新井から、夏の経済教室の準備状況、篠原代表から札幌ワークショップの取り組み状況などが報告されました。

内容の概略は、以下のネットワークのHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo038report.pdf>

2) 大阪部会が開催されました。

23 回の大阪部会が、5 月 14 日に同志社大学大阪サテライトで開催されました。
内容の概略は、まとまり次第ネットワーク HP でアップする予定です。

3) その他

雑誌『経済セミナー』（日本評論社刊）での「中学・高校の経済教育」という連載第二回 6・7 月号が刊行されました。今回は、奈良学園中高の山本雅康先生が「市場経済の授業」についての報告が掲載されています。山本先生の経済学の知見を活かしたレベルの高い授業の取り組みをお読みください。

内容の概略は、以下の日本評論社の HP をご覧ください。

http://www.nippyo.co.jp/magazine/maga_keisemi.html

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■東京部会 (No.39)を開催します。

日時：6 月 23 日（木）19 時 00 分～21 時 00 分

場所：日本大学経済学部 7 号館 13 会議室 3 予定

内容：夏のセミナーの内容検討、特に歴史と経済に関する内容の検討など
参加方法などは、ネットワークの以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo039flyer.pdf>

■経済教育ワークショップ「札幌」

日時：6 月 25 日（土）13 時 00 分～17 時 00 分

場所：札幌市立啓明中学校

内容：中学公民の教科書を読み解く（野間）、参加型授業教材提案（篠原）、
関西ネタ研での実践成果と課題（奥田）など

北海道で 3 回目のワークショップです。中学校の先生向けに多彩な講義と提案が用意されています。北海道の先生にお知り合いの方がいたらお声をかけてください。参加方法などは、ネットワークの以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/20110625.Sapporo%20WS%20revised.pdf>

なお、8 月 6 日（土）に、夏のワークショップの企画が進行中です。

こちらは内容が確定次第ネットワークの HP にアップいたします。

■大阪部会 (No.24)を開催します。

日時：7月2日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

参加方法など決定次第、ネットワーク HP にアップいたします。

■夏休み経済教室の東京教室(中学、高校向け)の内容が確定しました。

第四回目となる、東京証券取引所と共催の「夏休み経済教室」の日程と内容が確定しました。

日程は、名古屋が8月1・2日で会場は「ウインクあいち(愛知県産業労働センター)」、福岡が8月4・5日で会場は「福岡交通センター」、大阪8月は8・9日で会場は「天満研修センター」

です。東京中学は8月18・19日、東京高校は8月22・23日で会場は中学高校とも、日本大学経済学部7号館です。

内容としては、これまでの中高の教科書を読み解く(中川、野間、加藤の各先生担当)や

大学入試問題解説(西村先生担当)の他、地歴の先生方向けの講義(篠原代表担当)などの

新しい内容が盛り込まれています。また、東京高校では、4月に予定していた

「入試問題プロジェクト」の総括も取り入れた報告と討論が入っています。

また、各地の現場の先生や教科教育の専門家の先生方の講義や討論などが行われます。

今年は、各地域の教育委員会の後援だけでなく、金融広報中央委員会、

各地の金融広報委員会の後援もいただける予定です。

講演講義では、大竹文雄先生(大阪大学)が大阪と東京高校で講義をされます。

東京中学では、林敏彦先生(同志社大学)の講演が行われます。東京高校では、飯田泰之先生(駒澤大学)、大田弘子先生(政策大学院大学)の講演が行われます。

各地の中学高校には案内のちらしが6月上旬に発送され、受付が始まります。

内容の詳細・お申込み方法などは、ネットワーク HP

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

を是非ご覧ください。

【 3 】 授業のヒント

『これからの正義の話をしよう』(マイケル・サンデル)の冒頭に、2004年のハリケーン・チャーリー後に発生した便乗値上げの論争が扱われています。

東日本大震災では、ガソリンなどに多少の値上げはあったようですが、サンデルが紹介するような事例はなかったと言ってよいでしょう。これがなぜなのか、また市場論者からは便乗値上げとされている事例も本当はそうではないという反論もあります。生徒に市場の役割やそのなかでの人間行動、さらに日本と他国との違いなどを考えさせる授業を都立桜修館中等教育学校の高橋勝也先生が行っています。

高橋先生は、中等 3 年生（中学 3 年生）の道德の授業と、公民の授業でこの授業をなさった

とのこと。内容は、ガソリンを求めてスタンド前の行列に並んだ 1000 台の車のそれぞれの事情を抱えた人にどのような順番でガソリンを売るかを考えさせるものです。

新しい「現代社会」では、幸福・正義・公正を社会を見る概念の枠組みとして最初に教えることになっています。なかなか難問であるこのテーマに高橋先生の試みはきっと授業のヒントになるでしょう。

今回の地震や原発事故は悲しい出来事ですが、私たちにこの種の問題、つまり限られた資源をどのように本当に必要な人に配分してゆくのかという経済問題を突き付けています。問題を倫理や道德だけで語らずに経済の観点も導入しながら、総合的に問題に取り組む姿勢を生徒に身に付させる授業が望まれています。高橋先生の授業の内容と生徒の反応などは、近日中にまとめられて東京部会に報告される予定とのこと。

【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

教員をやっていると、人とのつながりが財産になります。なかでも、かつて教えたこと

ある生徒たち、卒業生たちとの関係は貴重な財産です。

先日、ネットワークの活動と夏の経済教室の PR のために名古屋に行ってきました。名古屋はなかなか地元の先生方とのネットワークが繋がらなくて一度は直接出向きたいと

思っていた場所です。丁度、地元の社会科の先生方の研究会の総会があるとのことでは

チャンスだと思っていました。それに加えて、会場が南山高校であると聞いてちょっとびっくり。

なぜなら、南山は前前任校での私のクラスを卒業した生徒が世界史の教員となっていたからです。

ということで、これは出かけなければと、中間テストの午後名古屋まで伺いました。

訪問して分かったのですが、南山学校では、社会科 8 名のうち 3 人が都立の高校の出身者という

ことを聞いて、これもびっくり。何かの縁を感じました。研究会総会では、会長の犬飼先生の好意で

時間をいただき、ネットワークと経済教室の案内をすることができました。人との出会いの面白さ、

ネットワークの大切さを感じた半日でした。また、名古屋の研究会の状況なども知ることができ、

百聞は一見に如かずだなと改めて思いました。

名古屋の先生方この夏はどうぞよろしく申し上げます。(新井)



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆